

(別紙)

令和5年度堅果類豊凶調査の結果（長野県）

【樹種別】

樹種	豊凶の状況	
ミズナラ、コナラ	並作下； 凶作～並作上 (R4：大凶作～大豊作)	・北アルプス及び長野地域は結実が悪く、ナラ枯れの影響もある。 ・東信、中信は一定の結実が期待できる。
ブナ	凶作； 大凶作～並作下 (R4：大凶作～豊作)	・昨年度、比較的結実が良かった影響で、全県的に結実が悪くなっている。
クリ、クヌギ等	並作； 不作～大豊作 (R4：大凶作～大豊作)	・クリ、クヌギについては例年並み。 ・クルミは全県で安定して結実している。

【地方別】

地方（地域）	判定	豊凶の状況
東信 (佐久、上田)	並作下	・ミズナラ、コナラ等の結実が見込まれ、並作程度は期待できる。
南信（諏訪、上伊那、南信州）	並作下	・ミズナラ、コナラ等の結実が見込まれ、並作程度は期待できる。
中信（木曾、松本、北アルプス）	並作下	・北アルプス地域はブナ、ナラ類ともに結実が良くない。 ・松本、木曾地域は一定程度の結実が見られる。
北信 (長野、北信)	不作	・ブナが結実しておらず、ナラ類の結実も良くない。
全県	並作下	・昨年度と比較すると少ないところが多いが、一定程度の結実が見られる。

※堅果類豊凶調査の実施方法

対象樹種：ミズナラ、コナラ、ブナ、クヌギ、クリ、クルミ

調査方法：①県内各地（令和5年度：83地点、約1,200本）で目視により樹冠全体及び枝の着果状況を確認

②着果状況に応じて樹木ごとに着果度ランクを決定

0：着果無し 1：樹冠一部疎に着果 2：樹冠一部密に着果

3：樹冠全体疎に着果又は樹冠半分に密に着果 4：樹冠全体密に着果

③地点樹種ごとに着果度ランクの平均値を出し、豊凶を判定

着果度ランク平均値	豊凶判定	着果度ランク平均値	豊凶判定
0	大凶作	1.5以上～2.0未満	並作
～0.3未満	凶作	2.0以上～2.5未満	並作上
0.3以上～1.0未満	不作	2.5以上～3.5未満	豊作
1.0以上～1.5未満	並作下	3.5～	大豊作

④判定結果を林業総合センター、環境保全研究所の研究員が総合的に評価、クマの出没を予測

【参考】中部森林管理局による県内国有林の堅果類豊凶調査結果について

○令和5年度 堅果類（ブナ・ミズナラ・コナラ）の豊凶調査結果について（長野県内）

URL：https://www.rinya.maff.go.jp/chubu/press/kouhou/230929_2.html